

府政記者クラブ・市政記者クラブ・経済記者クラブ同時資料配付

「経済復興対策京都官民合同会議」第3回会議の開催について

平成23年7月26日
京都府商工労働観光部
京都市産業観光局

「東日本大震災」に係る官民合同会議(第3回)を下記のとおり開催することとなりましたので、お知らせします。

記

- 1 名称 「経済復興対策京都官民合同会議」第3回会議
- 2 日時 平成23年8月1日(月) 10:00～11:30
- 3 場所 ホテル ルビノ京都堀川 3階「アムール」
(京都市上京区堀川通下長者町下ル Tel 075-432-6161)
- 4 内容 これまでの経済復興対策の取組状況と今後の対応について

〔構成団体等〕

京都府、京都市、京都府商工会議所連合会、京都府商工会連合会、
京都経営者協会、(社)京都経済同友会、(社)京都工業会、
京都府中小企業団体中央会、(社)京都府観光連盟、(社)京都市観光協会、
(公財)京都産業21、(財)京都高度技術研究所、京都産業育成コンソーシアム、
京都信用保証協会、(社)京都銀行協会、地元金融機関

京都府商工労働観光部産業労働総務課 075-414-4819

宮城「末家焼」唯一の窯元、津波で被害

陶芸の道 原点・京で再び



窯の復興に向けて開く作品展で、末家焼の最終チェックをする加藤文夫さん(左)とひろ子さん(右)夫婦。京都府左京区・法然院

“修業の地”夫婦展

きょうから

東日本大震災で自宅や陶房を失った宮城県亘理町の陶芸家夫婦が、陶芸の修業を積んだ「原点の地」の京都から復興への第一歩を踏み出す。14日から京都市左京区の法然院で作品展を開く。長女も今春から京都で陶芸の道に入り、「家族そろって、京都から再スタートを切りたい」と語る。

加藤文夫さん(61)とひろ子さん(57)。ともに現在の京都府立陶工高等技術専門学校(東山区)の修了生で、京都

で出会って結婚した。江戸時代から亘理町に伝わる「末家焼」の唯一の窯元として活動していたが、大津波に沿岸から約200メートル離れた約20坪の家や陶房、窯場をのみ込まれた。陶房は流さ

るひろ子さん(57)と今月、京都へやって来た。作品展では、甕や中鉢、茶道具など約170点を展示販売する。表面に泥状の土を塗り重ねて焼く末家焼の技法で、独自の質感を出した陶器だ。売り上げは窯の再建費用にする。

長女のまり香さん(22)は4月から陶芸家を目指し、夫婦の母校の同専門学校に入社した。文夫さんは「作品展を機に末家焼の復興に挑戦する。将来は娘に技法を伝えていきたい」と期待している。作品展は18日まで。

(中塩路良平)

7月14日付 京都新聞